

岩手医科大学報

Iwate Medical University News

2009・8 vol.399

●発行者—学長 小川 彰 ●題字—理事長 大堀 勉



花巻温泉病院「七夕さんさ会」(詳細はP13)

〈撮影 画像情報センター〉

おもな内容

- 巻頭言／歯科医療センター長就任挨拶 歯学部歯科麻酔学講座教授 城 茂治
- 特集／岩手医科大学歯科衛生専門学校の紹介
- 連載／当院認定看護師の紹介(5) 緩和ケア認定看護師 長澤 昌子
- 平成20年度決算
- すこやかスポット歯学講座 No.9 「顔と口腔のペインクリニック」

歯科医療センター長就任挨拶

歯学部歯科麻酔学講座教授 城 茂 治



本 年4月1日付けで岩手医科大学附属病院副病院長ならびに歯科医療センター長を拝命することとなりました。就任に際し、「**笑顔にあふれた歯科医療センター**」を目標として掲げました。これは患者さんにとっても働く職員にとっても心から気持ちよく、自然と笑顔があふれるような職場にしたいとの思いから掲げたものです。もちろん歯科医療センターには、笑顔ではいられない多くの解決すべき課題があることも認識しております。

歯 科医療センターは、教育機関としての更なる充実と東北における中核病院としての機能の強化を図っていかなければいけないと認識しています。

教 育機関としての充実については、教育職員の充実が第一で、これまでの教育研修をさらに推進し、職員間の連携を密にして一丸となって学生、臨床研修歯科医師の教育に当たりたいと考えております。センター長としては教職員誰もが誇りを持って教育できる環境の提供を心がけたいと考えております。もう一つ、年々減少傾向にある患者数の確保も課題として挙げられます。現状では教育機関としての患者数は何とか確保されているものの、学生の診療参加型臨床実習の充実が取りざたされる中、また臨床研修施設としての充実を考えますと満足できる状況ではありません。教育の観点からは一般歯科診療の充実が必要であり、総合診療室（科）の更なる充実が必

要と考えています。

一 方、後者の東北での中核病院としての機能強化には、専門科の充実が必要になります。その一つとして口腔インプラント科の設置が決まり、専任の責任者（准教授）も赴任することとなり、今後の活躍に期待しているところです。今後は、さらに様々な高度で先進的な歯科医療を提供できる専門科を実質化し、紹介率を上げることが目標としてやっていく所存です。一般診療は総合診療室（科）に集約し、一方では高度な専門診療を各専門診療科で担うという今まで以上の徹底した特徴を出す必要があるのではないのでしょうか。今後は教授会で決定された講座再編と連動して診療科再編を推進し、人材の有効活用を図る必要があります。現在の各診療科の先生方と十分話し合って、少しでも満足いただける形での再編を行ないたいと考えております。

し かし、歯科医療センターの中心はなんと言っても患者さんであり、患者さんにとって分かりやすい、利用しやすい再編でなければいけないことは言うまでもありません。これらの課題は一朝一夕に解決できるものではありませんが、三年間の任期の間に少しでも良い方向に向きたいと決意しております。これには教職員をはじめ、歯科医療センターひいては附属病院で働く全ての方々の理解、協力なしには成し得ないと考えております。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

特集



岩手医科大学 歯科衛生専門学校 IWATE MEDICAL UNIVERSITY DENTAL HYGIENIST'S SCHOOL

の紹介



学校長挨拶

歯科衛生専門学校校長 坂巻 公男

「行く川の流れば絶えずしてしかも本の水にあらず（方丈記）」

本学の目の前には中津川が流れ、そのほわりには杜若や忘れな草がちょこっと咲いています。平成16年4月岩手医科大学歯科衛生専門学校が開校し、毎年40数人（40人定員）の新入生を迎えています。いずれ菖蒲（あやめ、しょうぶ）か杜若（かきつばた）の学生さんが3年間と言う短い学生生活を送ります。

講義、臨床実習と岩手医科大学歯学部、歯科医療センター衛生部の衛生士の皆様を始め多くの機関の方々にご指導をいただいております。また、岩手県歯科医師会の先生方にも臨床実習から就職まですっかりお世話になっております。

歯科医界のニーズに出来るだけあう歯科衛生士を育てるべく教職員一同頑張っております。今後ますますよろしくお願い致します。



学 校 概 要

本校は、**歯科衛生士に必要な専門の知識および技術を修得させ、多様化する歯科保健サービスに対応し地域社会に貢献できる歯科衛生士を育成する**ことを目的として、平成16年に**北東北として初めて修業年限3年制**で開校しました。

学科目として、歯科衛生専門課程歯科衛生学科を設置し、入学定員は40名（男女）です。

教職員は、校長をはじめとして教員6名、事務員等3名の計10名の専任職員と、歯学部・医学部・共通教育センターの専門分野の先生方ならびに岩手県歯科医師会および関係諸機関のご支援により、計133名の先生方に非常勤講師を委嘱し、ご指導いただいております。

(1) 校訓・教育理念及び教育目標

校 訓 至誠至福

教育理念 人類福祉への貢献を基調とし、専門職業人として実践できる能力を持った人材を育成する。

教育目標

- 一 すべての人々に、愛と誠意をもって共感でき、行動できる人材を育成する。
- 二 常に探究心を持ち続け自ら科学的に思考できる人材を育成する。
- 三 柔軟で弾力に富み、常に順応性を持った対応ができる人材を育成する。

目指す学生像

- 一 真心を尽くす学生
- 二 科学的論理思考ができる学生
- 三 しなやかな感性をもった学生

(2) 学生数（平成21年6月1日現在）

1年 46名 2年 43名 3年 47名 計136名

(3) 卒業生数等（平成21年3月31日）

卒業生数 176名（3年課程：142名、2年課程：34名）

訪問介護員・居宅介護従業者二級課程修了者数 92名

(4) 歯科衛生士国家試験合格率

100% 2年課程（第14回）、3年課程1期～3期（第16回～18回） 全員合格

(5) 就職率

100% 求人倍率（8～9倍）

(6) 施設・設備（鉄筋コンクリート4階建）

1F 校長室 教務室 図書室 保健室 下足室およびロッカー室他

2F 第1～3講義室（各1～3学年教室） 第1実習室（ファントム基礎実習台 52台、パソコン 50台）他

3F 介護実習室 演習室（2室） 栄養指導室 第2実習室他

4F 第3実習室および第4実習室（ユニット 20台） 講堂



< 2F 講義室 >



< 2F 第1実習室 >



< 4F 実習室ユニット >

教育の特徴

北東北唯一の医・歯・薬学系大学の系列校としての特性を最大限にいかした専門教育を実現させています。最新の設備と恵まれた優秀な講師陣による指導により、歯科衛生士としての技術取得が可能となります。

特色1 ～ 北東北初の3年制 ～



幅広い教養を身につけ日々進歩する歯科医療を理解するために、**北東北では初めて教育課程3年制**といたしました。

3年間の学生生活では、歯科医療の専門基礎科目や専門分野などの科目を学ぶことができます。また、課外活動では岩手医科大学学生会所属の体育系、文化系などのクラブに所属し、全国歯科学生体育大会に参加するなど有意義な学生生活を送ることができます。

特色2 ～ 充実した教育スタッフ ～



教育科目の全般については、**岩手医科大学歯学部をはじめ医学部・薬学部・共通教育センターの先生方にご担当いただき完全にサポート**いたします。

また臨床実習は、岩手医科大学附属病院歯科医療センターを中心に高度な知識と技術の習得を目指すほか、岩手県歯科医師会と教育提携を行い、歯科医院での実践教育を実施することにより、卒業時には歯科衛生士としての高度な能力を身につけることができます。

特色3 ～ 全国初のスーパー PMTC 実習導入 ～



歯科衛生士は、厚生労働大臣の免許を受けて、歯科医師の直接の指導の下に、歯科予防処置や歯科保健指導、歯科診療補助の3つの業務を行う医療従事者です。

全国の歯科衛生士学校として、初めてのスーパー PMTC 実習（拡大鏡による機械的歯面清掃）を導入。最先端歯科医療を取り込んだ実習を実施、歯科衛生士の業務の専門化に対応しております。



特色4 ～最新の設備で充実した実習～



歯科用ユニット20台やファントム基礎実習台52台をはじめとする最新の歯科医療機器を整備。充実している機械器具数は学生数に対応しております。充実した設備を利用した専門分野の基礎実習では、歯科衛生教員による少人数指導を実現。大学病院や歯科医院で導入している機器に触れることで最新の医療技術の習得が可能です。

キャンパスライフ

4月

- 入学式 ●新入生歓迎会
- 臨床実習Ⅲ期【3年生】

5月

- 幼稚園での保健指導実習
- 第1回学校見学会

6月

- 小学校での保健指導実習
- 歯の衛生週間（8020運動）



研究授業

10月

- 戴帽式【1年生】
- 推薦・社会人Ⅰ期入学試験

11月

- 臨床実習Ⅱ期【2年生】

12月

- 第5回学校見学会
- 冬季休業（12月23日～1月10日）



卒業式



臨地実習～園児と仲よし～

7月

- 第2回学校見学会
- 消防訓練 ●学生交流会

8月

- 第3回学校見学会
- 夏季休業（7月25日～8月24日）

9月

- 第4回学校見学会
- 修学旅行【3年生】



戴帽式

1月

- 一般Ⅰ期・社会人Ⅱ期入学試験
- 臨地実習【2年生】〈ヴィラ加賀野〉

2月

- 歯科衛生士国家試験【3年生】
- 臨床実習Ⅰ期【1年生】

3月

- 卒業式 ●謝恩会
- 一般Ⅱ期入学試験
- 春期休業（3月20日～4月5日）

就 職 活 動

平成19年3月に3年課程の初の卒業生を社会に送り出しました。以来、平成21年3月の卒業生まで172名を数え、岩手県内外の歯科医院より高い評価をいただいております。また、修業年限3年制において高齢者・障害者の口腔ケア等の専門的知識や技術を学習しており、高齢社会における歯科衛生士の活動の場すなわち職域拡大のために岩手県内の各医療機関、福祉施設等への就職が期待されています。

現在の求人倍率は8～9倍と高く、今後全国的に歯科衛生士不足が予想されるなかで、「これから、まさに歯科衛生士の出番である、本校の出番」との意識を持って、優秀な学生の確保から教育内容の更なる充実や学校運営の安定化に向けて坂巻校長を先頭に教職員一丸となって決意をあらたにしています。

今 後 の 展 望



岩手医科大学 歯科衛生専門学校
Iwate Medical University Dental Hygienist's School

たくさんの笑顔のために
歯科医療のスペシャリストをめざして。

丈夫でキレイな歯を保つことは
人々の心身の健康にとって
とても大切なことです。
人々の歯の健康を守り、維持していく
歯科医療のスペシャリストとして
幅広く活躍できるステージが
ここからはじまります。

少子高齢化、4年生大学志向が全国的な歯科衛生士養成機関の定員割れの状況をきたしている中で本校は、開校以来定員割れを起こすことなく平成21年も入学生を迎えることができました。しかし、志願者数は徐々に減少してきており、引き続き受験生から志望先として選択される学校となる必要があります。

受験生が、志望校を選択する際のポイントとして、教育内容の充実、教育設備の充実、国家試験対策、就職斡旋等に分類されますが、本校では、いずれにおいても他校に比べて劣るものはなく、現在まで定員割れを起こすことなく学生を確保できてきているという結果をもたらしているものと考えます。本校の卒業生は、就職先から高い評価を頂いております。今後も、入学者数を確保し、よりよい教育を考え、より優れた人材の教育に協力し、一人ひとりが持つ特徴あるすばらしい能力を引き出し、良質な歯科衛生士を世に送り出し歯科医療へ貢献すべく、教職員が一丸となって頑張っています。引き続き、皆様方のご支援ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

(文責：歯科衛生専門学校事務長 藤原 伸一)

平成22年度学生募集要項をお送りいたします。
歯科衛生士を希望されるお子様、お知り合いの方が
おりましたら、下記までご請求くださいますようお願い
いたします。

- 電 話：019-651-5118 (直通)
- FAX：019-651-5117
- Email：eisei@j.iwate-med.ac.jp

学校見学会の参加者募集中！是非ご参加ください。歯
科衛生士の仕事、資格と就職について、体験コーナー、
在校生との懇談、入試対策講座等々

- 第3回：8月22日(土)
- 第4回：9月26日(土)
- 第5回：12月5日(土)

このほか詳細な内容に関しましては、歯科衛生専門学校ホームページ (<http://w3j.iwate-med.ac.jp/eisei/index.html>) をご参照ください。



当院認定看護師の紹介(5)

看護部

腫瘍センター看護師長

緩和ケア認定看護師

長 澤 昌 子

認定看護師紹介の第5回目は、緩和ケア認定看護師の活動を紹介させていただきます。

院内での主な活動は三つあります。一つ目は、緩和ケアチームの専従看護師としての活動、二つ目は今年度より開設された「がん患者・家族サロン」での活動、三つ目は当院のがん看護の質向上を目的とした指導者としての活動です。

院外の活動としては、岩手県看護協会や他施設での研修会の講師や、昨年度より行われている岩手県緩和ケア医師研修に協力者として参加させていただいたり(写真1)、日本死の臨床研究会の世話人および教育研修委員などがあります。

本稿では、主に院内での活動についてお伝えしたいと思います。

緩和ケアチーム

私は、平成12年より緩和ケア認定看護師として活動しておりましたが、平成19年度に結成された緩和ケアチームにおいて専従看護師となり、院内横断的に活動させていただいております。緩和ケアチームのメンバーは、6診療科の医師と、薬剤師、栄養士、作業療法士、医療相談員などで、毎週水曜日にカンファレンスと回診を行っています。私は、チームに依頼を受けた患者さんやそのご家族とコミュニケーションを図りながらそれぞれの意向を確認し、チームメンバーと協働して緩和ケアが適切に提供できるように調整したり、担当看護師の相談を受けたりしています。緩和ケアは、治療の早期からの実践が求められておりますが、実際にはまだ緩和ケアを受けることに抵抗感を持っておられる患者さんやご家族もいるように思います。私は、初めて患者さんにお会いする際には「緩和ケア」という言葉に対するイメージを伺ったうえで、「緩和ケアチームは、辛いように病気とつきあっていけるようにお手伝いさせていただきます。緩和ケアは、病気の治療と並行して受けていただくものです。」とお話ししています。昨年から、各病棟の緩和ケアリンクナースが「生活のしやすさに関する質問表」を使用して、緩和ケアチーム介入の必要性をアセスメントできるように取り組んでいます。



写真1 岩手県緩和ケア医師研修
(左から二人目が筆者)

がん患者・家族サロン

「がん患者・家族サロン」は、開設されて以来約2カ月で400名を超える方々に利用していただいております。私は、腫瘍センターの一員として、よろず相談を担当しています(写真2)。サロン担当者は、看護師の他に薬剤師、栄養士、医療相談員などで、毎週スタッフミーティングを開催しサロンを有効に活用していただけるための企画や、広報の方法などを検討しています。6月からは患者会の方々にボランティアとして参加していただくことになり、利用する方により満足していただけるように、調整役としての役割も果たしていきたいと考えています。



写真2 よろず相談の様子

がん看護の質向上を目指して

当院は、岩手県がん診療連携拠点病院の指定を受けており、より質の高いがん看護が求められています。私は、2名のがん化学療法看護認定看護師とともに、平成15年度よりがん看護セミナーを実施してきました。これまでに一緒に学んだ看護師は200名を超え、その中には岩手県看護協会の「がん看護」研修でさらに学びを深めたり、認定看護師を目指す後輩も出てきました。一昨年からこれらのスタッフでチームを結成し、がん看護セミナーの企画・運営に参加してもらうことで、より充実したセミナーを実施できるようになりました。今年度からは乳がん看護認定看護師も加わり、がん看護をさらに系統的に学べるように、年間8回のセミナーを予定しています。

このように、認定看護師としての活動ができるのは、看護部をはじめ各診療科の先生方、他部門の皆様のご指導によるものと感謝しております。今後も、看護の質向上に貢献できるように努力していききたいと思いますので、よろしく願います。

表彰の栄誉

二井 将光 教授 第50回藤原賞を受賞



表彰を受ける二井教授

本学薬学部長である薬学部機能生化学講座の二井将光教授が、医学部門からの推薦で2009年度（第50回）藤原賞を受賞しました。贈呈式は6月17日(水)東京神田錦町の学士会館にて、安倍元首相や銭谷文部科学事務次官の出席のもとに行われました。本賞は、我が国の製紙王といわれた藤原銀次郎氏が、私財を寄付して1959年に設立した藤原科学財団から、現在活躍中で科学技術の発展に卓越した貢献をした科学者に贈られるものです。

今回の受賞では、ATP 合成酵素による生体エネルギー産生機構と、骨吸収窩やリソソームなど細胞内外の酸性環境を形成する多彩な V-ATPase を系統的に研究し、生化学や細胞生物学の発展に大きく貢献したことが評価されました。

二井教授のますますのご活躍が期待されます。

若林 香枝 助教 第33回日本口蓋裂学会総会優秀ポスター賞を受賞

歯学部歯科矯正学講座の若林香枝助教が、5月28日(木)、29日(金)に東京都で開催された第33回日本口蓋裂学会総会において、優秀ポスター賞を受賞しました。受賞ポスターは「唇裂鼻における外鼻形態の鼻腔内側からの観察～ボリュームレンダリング法による評価～」です。

当科では現在、唇顎口蓋裂乳児の術前顎矯正として nasal stent 付き口蓋床による顎発育誘導と唇裂鼻の改善を行っています。今回の研究結果から、今後唇裂鼻改善がより効果的となるような装置の改良に寄与できることが期待されます。

(文責：歯学部歯科矯正学講座教授 三浦 廣行)



理事会報告

5月定例（5月25日開催）

1. 平成20年度事業報告、決算及び監査報告について
2. 総合移転整備計画に係る寄付金募集について
3. 緑ヶ丘グラウンドフラワー棟他解体撤去について
緑ヶ丘グラウンド内の老朽化が著しく安全性が危惧されるフラワー棟他について解体撤去等を実施する
4. 任期満了に伴う健康管理センター長の選任について
嶋村 正（整形外科学講座教授）
(任期 平成21年6月1日～平成24年5月31日まで)
5. 岩手医科大学学則の一部改正及び学則変更の届出について
・柔軟な入試制度を可能とするための新たな転学部および編入学に関する制度の導入
・授業料等に係る不明確な文言の一部改正
以上についての文部科学省への学則変更届けを承認

6月定例（6月29日開催）

1. 教職員の人事について
<昇任>
衛生学公衆衛生学講座嘱託教授 浅沼 一好（前准教授）

耳鼻咽喉科学講座嘱託准教授 館田 勝（前講師）

(平成21年7月1日付)

2. 歯学部学業奨励奨学金規程の制定及び薬学部奨学金規程の一部改正について
・歯学部学業奨励奨学金制度を新設
・歯学部との整合性を図るため薬学部の規程内容を一部改正
3. 入学時学納金減免内規の一部改正について
・歯学部を除くことによる各条項の文言修正
・担当事務を入試センター事務室に変更
4. 学納金の改定及び学則の一部変更について
5. 総合移転整備計画二次事業に係る基本設計について
・計画建物を講義・実習棟、研究棟、管理棟、エントランスホール、動物実験センター、食堂、展望タワー、学友会館とする
・概算事業費を合計約120億円とする
・計画内容によっては計画規模の縮小、内容変更も必要となる

新任教授の紹介

掲載項目は先生に回答いただいたものです。なお、②のタイトルが英文の場合は和訳して掲載しています。

所属名 医学部法医学講座

氏名 出羽 厚二
(でわ こうじ)

生年月日 昭和34年9月21日
兵庫生まれ、東京で育ち、
新潟で肥える



①研究テーマ

- ・DNA 多型
- ・医療事故、医療関連死

②主な著書論文

- ・ヒト性決定遺伝子上の多型性 (Int J Legal Med 2001)
- ・Y 染色体の多型性の変異率について (DNA 多型 2006)
- ・ドイツ人における Y 染色体上の多型性アレルの突然変異率 (Int J Legal Med 2007)

③趣味・特技

- ・スポーツ観戦 (Tigers ファン)

④教職員への自己PR

人生の半ば以上を新潟で過ごしておりましたが、この度「ゆかりはありませんが縁あって」岩手に参りました。我が国の医療全般に崩壊がおこっていますが、死因究明体制の脆弱ぶりは更に目を覆うべき状態にあります。私は非力ですが、関係各所と綿密な連携をとり、自分に与えられた任務を全うして大学と地域に貢献をしていきたいと思っております。

⑤経歴

昭和60年 新潟大学医学部卒業
昭和60年 新潟大学医学部附属病院医員・麻酔科
昭和62年 新潟大学助手・法医学教室
平成8年 新潟大学助教授・法医学教室
平成11年 ドイツミュンスター大学留学 (平成13年10月まで)
平成20年 新潟県赤十字血液センター
平成21年6月 現職

所属名 歯学部口腔生理学講座

氏名 佐原 資謹
(さはら よしのり)

生年月日 昭和30年10月20日
香川県生まれ



①研究テーマ

- ・感覚情報処理に関わる末梢および中枢神経系シナプスの発達と異常

②主な著書論文

- ・ジストロフィン欠損マウスでは扁桃体の GABA シナプスの伝達阻害と防禦行動の亢進が引き起される (Brain 132: 124-135, 2009)
- ・1つのシナプス小胞に含まれる神経伝達物質はシナプス後膜上のグルタミン酸受容体を飽和させることはない (Neuron 34: 613-621, 2002)
- ・嗅球の樹状突起-樹状突起間の抑制は NMDA 受容体を介しておこる (J. Neurosci 18: 6790-6802, 1998)

③趣味・特技

- ・ハイキング・登山、写真、ワイン

④教職員への自己PR

改革・変革とより性急な成果・効率を求める時代風潮の下で、基礎研究は資金面、人材確保の面で多くの困難に直面しています。しかし、どのような状況にあっても、新たな研究分野や手法の開発を継続し、基礎研究を先に進めてゆくことが肝要と考えます。医学部、薬学部の先生方との学内共同研究により、世界に発信できる仕事ができればと願っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

⑤経歴

昭和56年 東京医科歯科大学歯学部卒業
昭和60年 東京医科歯科大学大学院歯学研究科博士課程修了 (歯学博士)
米国 NIH, NIDR 博士後研究員
昭和62年 (助)東京都神経科学総合研究所流動研究員
平成2年 東京医科歯科大学歯学部助手
平成8年 米国オレゴン健康科学大学ボラム研究所客員研究員 (2年半)
平成13年 東京医科歯科大学歯学部講師
平成14年 東京医科歯科大学大学院医歯総合研究科助教授
平成19年 国立精神神経センター神経研究所研究員
平成21年7月 鶴見大学歯学部准教授
現職

省エネ推進委員会だより

<身近にできる省エネ活動>

- ①  60W 白熱灯を電球形蛍光灯に取替え。
- ②  冷蔵庫の設定を「強」⇒「中」に。
- ③  コタツの温度設定を低めに設定。
- ④  温水洗浄便座
使用しない時はフタを閉める。
- ⑤  シャワールの使用時間を1分間短縮する。

<省エネ効果>

- ➡  ￥1,850の節約
- ➡  ￥1,360の節約
- ➡  ￥1,310の節約
- ➡  ￥770の節約
- ➡  ￥2,980の節約

※1台 (1箇所) あたりの年間の省エネ効果

まずは、身近なところから省エネについて心掛けてみましょう。

平成20年度 決算

大学経営は、18歳人口の減少に伴い学生確保が困難になるなど非常に難しい状況となってきています。47%の私立大学では入学定員を充足できず、経常経費を附属収入で賄えない状態になるなど、経営悪化が懸念されている私立大学が37%にも達しています。

このような環境下においても、本学は常に教育・研究・医療の活性化と質的向上が求められており、社会的問題となっている医師不足の解消のため医学部定員110名への増員が認められ、これに伴う講義室・実習

室の改修や教育用機器などの整備を行いました。また、病院各種機器の整備や腫瘍センター等の施設整備など一層の充実を図りました。

平成20年度消費収支決算では、収入において主に学生生徒等納付金及び医療収入の増加がありました。一方、支出においては人件費などの増加がありましたが、収入が支出を上回ったため、9億7,372万円の収入超過額の計上となりました。

1. 消費収支の概要

(1)消費収入

消費収入の合計額384億1,127万円は、前年度比5億7,062万円（1.5%）増加し、予算を4億4,894万円（1.2%）上回りました。

- ① 学生生徒等納付金66億4,011万円は、前年度比4億6,008万円（7.4%）増加しました。
- ② 医療収入270億3,675万円は、前年度比10億5,737万円（4.1%）増加しました。附属病院医科の医療収入は手術件数の増加や7対1看護基準の導入などにより前年比7億6,075万円（3.9%）の増加、附属病院歯科は3,434万円（3.6%）の増加、循環器医療センターは手術件数の増加などにより2億6,935万円（6.7%）の増加、花巻温泉病院は707万円（0.5%）の減少となりました。

- ③ 補助金合計額は、27億5,719万円で前年度比5,991万円（2.2%）増加しました。

私立大学等経常費補助金19億3,301万円は、前年度比3,704万円（2.0%）増加、その他の国庫補助金では、私立学校施設整備費補助金3,873万円、私立大学等研究設備整備費等補助金1,847万円、大学改革推進等補助金3,930万円、医師臨床研修費補助金1,844万円、歯科医師臨床研修費補助金5,582万円で合計1億7,076万円となりました。

また、地方公共団体補助金は、医療人材育成支援事業費補助金1,461万円、高度救命救急センター運営費補助金2億136万円等で合計6億5,242万円となり、前年度比6,695万円（11.4%）増加しました。その他学術振興資金100万円がありました。

(2)消費支出

消費支出の合計額374億3,755万円は、前年度比4億9,174万円（1.3%）増加し、予算を10億6,440万円（2.8%）下回りました。

- ① 人件費188億585万円は、薬学部開設に伴う教員の段階的任用や附属病院医科の7対1看護基準の導入による増員などがあり、前年度比2億8,255万円（1.5%）増加しました。

給与、賞与、所定福利費の合計174億9,911万円

は、前年度比3億7,060万円（2.2%）増加し、退職金と退職給与引当金繰入額の合計12億5,283万円は、前年度比8,871万円（6.6%）減少しました。

- ② 医療経費101億7,663万円は、前年度比1億1,873万円（1.2%）減少しました。医薬品費は、前年度比3億138万円（5.7%）の減少、医療材料費は2億316万円（4.2%）の増加、給食材料費は2,051万円（8.3%）減少しました。

医療収入に対する医療経費割合は37.6%となり、前年度の39.6%を2.0%下回りました。

- ③ 光熱水費は、重油料2億7,227万円、ガス料1,279万円、電気料4億1,443万円、水道料2億1,506万円、合計9億1,455万円となり前年度比1,050万円（1.2%）増加しました。
- ④ 修繕費は、施設修繕費3億1,294万円、機器備品修繕費1億4,855万円、合計4億6,150万円となり前年度比1,290万円（2.9%）増加しました。
- ⑤ 消耗品費8億5,514万円は、前年度比4,117万円（5.1%）増加しました。
- ⑥ 印刷製本費1億7,348万円は、前年度比1,326万円（8.3%）増加しました。
- ⑦ 業務委託費20億6,093万円は、前年度比1億7,919万円（9.5%）増加しました。部門別では、附属病院医科9億5,898万円、附属病院歯科9,091万円、循環器医療センター2億6,853万円、花巻温泉病院1億2,859万円、その他6億1,392万円でした。
- ⑧ 公租公課9,532万円は、消費税5,097万円、法人税2,175万円、事業税921万円、固定資産税・都市計画税1,160万円等でした。
- ⑨ 学生福利費3,549万円は、学友会館諸経費1,403万円、その他健康診断経費・予防接種経費等でした。
- ⑩ 職員福利費9,545万円は、健康診断諸経費1,667万円、保育園運営管理委託料1,722万円等でした。
- ⑪ 減価償却額22億40万円は、前年度より2,076万円増加しました。
- ⑫ 資産処分差額1億1,395万円は、耐用年数が経過した資産未償却額の除却等でした。

2. 資本収支の概要

(1)資産の部

- ① 施設関係は、建物7,798万円、構築物2,843万円の増加となりました。
- ② 設備関係は、教育研究用機器備品13億9,064万円、その他の機器備品1,104万円、図書4,950万円の増加となりました。
- ③ 施設拡充引当特定資産として20億円を積み立てました。
- ④ 貯蔵品残高は、年度末に棚卸を行い調査した在庫分であり、医薬品・医療材料1億6,940万円、歯科貴金属471万円、合計1億7,411万円でした。

(2)負債、基本金、消費収支差額の部

- ① 前受金残高17億5,731万円は、平成21年度入学生

の学生生徒等納付金等でした。

- ② 預り金残高4億8,035万円は、源泉所得税4,248万円、県市町村民税9,030万円、私学共済掛金9,176万円等でした。
- ③ 基本金に22億2,825万円の組入れをし、基本金残高は704億6,990万円となりました。
- ④ 消費収入超過額9億7,372万円と前年度繰越消費支出超過額107億6,763万円を合計した翌年度繰越消費支出超過額は、97億9,391万円となりました。
- ⑤ 基本金残高と翌年度繰越消費支出超過額を合計した自己資金は、前年度より32億197万円増加し606億7,598万円となりました。

平成20年度 消費収支計算書

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	6,640,110	人件費	18,805,847
手数料	160,536	医療経費	10,176,626
医療収入	27,036,750	消耗品費	855,143
寄付金	2,298,798	光熱水費	914,553
補助金	2,757,199	旅費	218,102
資産運用収入	317,678	修繕費	461,498
資産売却収入	185	業務委託費	2,060,927
事業収入	681,866	減価償却額	2,200,399
雑収入	746,400	その他の諸経費	1,605,888
帰属収入合計	40,639,522	その他の支出	138,569
基本金組入額合計	△ 2,228,248		
消費収入の部合計	38,411,274		
当年度消費収入超過額	973,722	消費支出の部合計	37,437,552

平成20年度 資金収支計算書

(単位：千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	6,640,110	人件費支出	18,877,173
手数料収入	160,536	諸経費支出	16,306,930
寄付金収入	2,176,705	借入金等返済支出	6,715
補助金収入	2,757,199	施設関係支出	118,113
資産運用収入	317,678	設備関係支出	1,354,176
資産売却収入	1,400	資産運用支出	2,015,216
事業収入	681,866	その他の支出	2,744,871
医療収入	27,036,750	資金支出調整勘定	△ 2,280,289
雑収入	746,400	次年度繰越支払資金	13,896,664
前受金収入	1,586,382		
その他の収入	5,690,040		
資金収入調整勘定	△ 7,088,066		
前年度繰越支払資金	12,332,569		
収入の部合計	53,039,569	支出の部合計	53,039,569

貸借対照表

平成21年3月31日

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	51,356,968	固定負債	5,929,725
有形固定資産	39,224,527	流動負債	4,435,161
その他の固定資産	12,132,441	負債の部合計	10,364,886
流動資産	19,683,902	基本金	70,469,896
		翌年度繰越消費支出超過額	△ 9,793,912
資産の部合計	71,040,870	負債・基本金・消費収支差額の部合計	71,040,870

●放射線治療施設新築工事の地鎮祭が行われる

平成21年6月1日(月)午前9時から中央通1丁目98-7(日本赤十字社隣り)において、放射線治療施設新築工事の地鎮祭が執り行われ、大堀理事長、小川学長ら本学関係者と工事関係者合わせて約30名が出席しました。

神職による神事では、大堀理事長による鍬入れや玉串奉奠などが行なわれ、工事の無事を祈願しました。

同施設は平成23年2月からの稼働予定であり、放射線治療装置「リニアック」の増設を始め、「PET/CT」装置を新たに導入することから、県内がん治療の向上へ大きく貢献するものと期待されます。



神事の様子



放射線治療施設イメージ図

●ライオンズクラブ国際協会へ感謝状を贈呈

6月2日(火)、ライオンズクラブ国際協会332-B地区の地区ガバナー米谷春夫様他1名が来学し、本学眼球銀行(総裁:小川彰学長)に185万円を寄付され、小川学長から感謝状が贈呈されました。

同協会から毎年いただいている寄付金は、アイバンクの啓発活動や角膜移植に使用される眼球摘出の費用などに充てられ、一人でも多くの方が光を取り戻すために活用されています。

ここにライオンズクラブ国際協会様には、心から御礼申し上げます。



感謝状を贈呈する小川学長(写真右)

●ウェルかむ2009が行われる



咀嚼力の判定をする「体験コーナー」

6月5日(金)に本学附属病院歯科医療センターで、歯の衛生週間にちなんだ「ウェルかむ2009-歯科医療、そこが知りたい-」が行われ、子供から大人まで総勢282名が訪れる賑わいとなりました。

当日は、歯科医療センターに関する「相談コーナー」をはじめ、ガムを用いた咀嚼力の判定をする「体験コーナー」、生活習慣病予防のための食物繊維たっぷりメニューの「試食コーナー」、歯科診療科等のパネル展示による「情報提供コーナー」など様々な企画が用意されました。

来場者からは、「試食が美味しかった」「勉強になった」「丁寧な説明で分かりやすかった」などの感想が寄せられ好評を博しました。

● ふれあい看護体験が行われる

6月23日(火)本学附属病院にて、今回で19回目の実施となる「ふれあい看護体験」が行なわれ、県内の高校生21名が看護業務を体験しました。

参加者は白衣に着替えた後、小林病院長や及川看護部長から挨拶をうけ、それぞれの体験場所に分れて、患者さんの搬送・誘導や清潔の援助、会話、車椅子での散歩など実際の看護業務を体験しました。

体験を終えた参加者は「分からないことばかりで緊張したが、患者さんに喜んでもらえて嬉しかった」と感想を述べ、看護の心にふれあう貴重な体験となったようです。



「きれいに洗ってもらえてきもちいいです」と書かれたボードを見て、笑顔を見せる上野さん（盛岡中央3年）

● 永年勤続者表彰が行われる

平成21年度の永年勤続者表彰式が、6月23日(火)午後4時30分から本学講堂（歯学部4階）において行われました。本年度の表彰者は、勤続30年の方が37名、勤続20年の方が22名、合計59名でした。

式典では、大堀理事長より代表者（勤続30年：中4階病棟看護師長の高橋あつ子さん、勤続20年：生物学科教授の松政正俊さん）へ表彰状と記念品が授与され、慰労の詞が述べられました。これを受けて歯科補綴学第二講座教授の石橋寛二さんが「これからも大学の輪を大切に仕事に励みます」と謝辞を述べ、式典終了後に壇上にて記念撮影を行いました。その後、会場を記念館8階に移して祝賀パーティーが催され、勤続のお祝いをするとともに今後ますますのご活躍を祈念し、盛会裡のうちに終了となりました。

永年勤続30年

上戸幸美
石橋寛二
井藤克典
岩上美智
及川玲子
大内川建弘
内田朝義

沼野道子
小原栄子
木川美代
菊地弘子
小池れい
熊谷絹子
小森な子
齊藤健司

清下高橋
河田高橋
高橋花
高橋藤
高橋立
高橋千

尚利恵子
恵子美子
美子雄子
俊弘子
正弘子
均子

戸賀沢千恵子
豊巻和司
十和田正
永峰村正
中新津ひさ
橋本政彦
藤原桂一

川浦幸枝
三浦計37名
(所属・敬称略)

永年勤続20年
阿部晶子
磯貝純夫
一大貞佳
木友美
久池美
佐村真
々々慈昭
木直美

佐々木美香
藤藤泰生
藤藤珠美
木橋明
内島可克
香ゆり仁美
美紀子
愛巳

中乳島薫
井井律
松政正
八重柏裕
山田裕
計22名
(所属・敬称略)



● 解剖体慰霊祭が行われる

第72回解剖体慰霊祭が、6月27日(土)午後1時30分から本学講堂（歯学部4階）において小川学長をはじめとする教職員・学生の本学関係者やご遺族など約300名が参列して厳かに執り行われました。慰霊祭は96霊のご尊名奉読に続いて、小川学長による祭詞、学生を代表して歯学部3年の深澤翔太さんから追悼と慰霊のことばが捧げられました。続いて参列者全員で医学・歯学のために貢献された方々に対して感謝するとともに霊の安らかならんことを祈り献花いたしました。

慰霊祭終了後は、生前よりご自分の意思で献体登録され、成願された方々への文部科学大臣感謝状伝達式が行われ、ご遺族に感謝状とご遺骨が返還されました。



● 保険診療に係る集团的個別指導が行われる



講演する布川茂樹先生

診療報酬請求の留意事項等の説明が行われました。

参加者はメモを取りながら熱心に聴講し、適切な保険診療の理解を深める有意義な時間となったようです。

7月2日(木)、23日(木)の両日、本学講堂（歯学部4階）にて、保険診療に係る集团的個別指導が行われ、総勢615人が参加しました。

集团的個別指導とは、健康保険法等の規定に基づき、保険医療担当者に「保険診療の理解と適切な保険請求」のため、指導大綱に定められているものであり、各担当者の出席を強く求められているものです。

当日は、東北厚生局岩手事務所指導医療官の布川茂樹先生を講師に、18時30分から1時間にわたり保険診療のルール、



● 花巻温泉病院で「七夕さんさ会」が行われる



笛・太鼓・唄・踊りに、患者さんも一緒に手拍子を合わせて楽しむ様が見られました。

また会場では、職員手作りの綿アメ・かき氷が配られるなどちょっとしたお祭り気分の一時に、患者さんからは「上手だよ」「元気が出た」「ありがとう」などのお言葉をいただきました。

花巻温泉病院では7月11日(金)午後2時から「七夕さんさ会」を開催し、職員約30名が「七夕くずし」「栄夜差踊り」「花巻温泉音頭」を披露しました。この「七夕さんさ会」は、例年7月の七夕会に合わせて開催されております。

朝からの雨も昼前には上がり、会場には「病気が早く治りますように」「笑顔で毎日を過ごせますように」などの願いが込められた短冊がいっぱいの七夕飾りが取り付けられました。その七夕飾りを囲みながら浴衣姿の職員達が演ずる



神経科学講座（薬学部）

神経科学講座では、現在、アルツハイマー病発症の分子基盤に関する研究を主体に研究していますが、その他、神経科学領域でオリジナルな深みのある仕事をするよう模索しているところでもあります。

本講座は、私の他に、前田智司准教授、鄒鶴（ぞうくん）助教、田邊千晶助手、劉俊俊（りゅうしゅん）研究員、劉姝余（りゅうしゅよ）研究員、計6人が所属しておりますが、半分が中国人で、週一回実施している研究報告は、英語で行なっています。研究室内では、日本語を教えたり、中国語を教わったりで、日本語、中国語、英語の3カ国語が公用語となっています。「早上好（zao shang hao）」（お早うございます）、「您辛苦啦（nin xin ku la）」（お疲れ様です）は、よく聞こえてくる中国語です。

この講座が開設されたときに、お祝いに蘭の花をいただきました。3株あったのですが、1株ずつ分けて、毎年、花が咲くよう管理しております。昨年

は、2株しか咲きませんでしたでしたが、今年は3株全部咲きました（写真）。この蘭のように、毎年、何らかの花が咲かせるよう講座一同頑張っております。

（教授 駒野 宏人）



歯科医療センター事務室

歯科医療センター事務室は事務職員5名で構成されており、新患・再来・各診療科受付、会計業務は(株)こずかたサービスに業務委託をしております。そ



の中で私たちは、様々な職種と関わり業務也多岐にわたるため、こずかたサービスと一致協力し業務を遂行しております。事務室として歯科医師や衛生士、技工士、看護師、薬剤師、放射線技師等スタッフと連携を図り、診療の現場での「陰の支え」となることが責務であると考えております。毎日の診療がスムーズに行えるよう事務職員のスキルアップを目指し、院内の環境整備などを考慮しながら患者さんに「この歯科医療センターに来て良かった」と感じていただけるよう努めたいと考えています。「歯」はあなたの財産であり、「歯は健康のバロメーター」とも言われるほど大切な領域です。治療はもちろんのこと予防も大事なことです。健康な歯を保つため是非みなさまも歯科医療センターに一度足を運んでみてください。

（事務室長 高藤 仁）

看護部（高度救命救急センター）

救急センターは、平成8年に厚生省から「高度救命救急センター」として北海道・東北地区では最初の認定を受けました。現在、遠藤重厚教授をはじめとする約40名の医師と救急認定看護師でもある安保弘子師長をはじめとした42名の看護師が24時間体制で治療・看護にあたっており、北東北の救急医療の拠点として重要な役割を果たしています。

患者は、県内外から外傷・脳血管障害・腹部疾患・呼吸器疾患などの他、四肢切断・熱傷・中毒などの特殊病態で、生命に直結した緊迫した状態で緊急搬送されてきます。そこで、速やかに治療や検査を実施するために他部門・医師・スタッフ間の連携を図っています。さらに我々は、患者・家族の意思を尊重し、安全で信頼感のもてる根拠に基づいた医療、看護の提供を目指しています。

また、昨年6月14日午前8時43分に発生した、岩手・宮城内陸地震は未だ記憶に新しいと思います。

私達救急センターからも岩手DMATとして被災地での活動に参加し、重症患者の受け入れも行いました。

災害は、いつどこで起こるかわかりません。年に4回様々な災害場面を想定し訓練を行っています。備えあれば何とか…と言うように、皆さんも参加してみませんか。

（主任看護師 高松 律子）



笑い療法士とはなにか

(癒しの環境研究会代表世話人 医師 高柳 和江)

笑いには、微笑から大声を上げて呵呵大笑するまで、いろいろなレベルがある。免疫を高めるには、ワッハッハと大声で笑う必要がある。でも面白い格好をして、パフォーマンスでみんなを笑わせようとするのを見て笑うのは、もともと笑いたいと思っている元気な人だ。しかし、多くの患者さんは苦しみを抱えていて、笑おうと思っても笑う状況にはない。そういう人たちが本当に心から笑えるような場と空気を提供するのが本当の医療提供者であり、福祉のケアをする方だと思っている。

とかく癒しといえば、途端にモーツァルトの音楽であったり、リラックスとか緑の安らぎとかいう話になる。もちろんそれもいいが、元気になるというのも癒しだ。痛くないこと、苦痛をなくすることが医療であるなら、患者さんでも笑いたい。あたりまえのことではないか。

2日間の徹底的なトレーニングを行って、笑い療法士が育った。医者もいれば看護師さんもいれば、ケースワーカーもいれば、一般の人も、定年後の人生に掛けるという人もいる。がんの患者さんもいた。その一人は「私は患者です」と言っていたが、他にも患者さんがいたことは私も知らなかった。あとになってその彼女が言った。「普段は、包丁で刺されるみたいにあちこちが痛い。だけど、研修会のあの2日間は不思議なことにちっとも痛くなかった。終わってから、また包丁で刺されるような痛みが戻ってきました。」私は、笑いが足りない、修行が足りん、もっと笑えと指示書を出して彼女を見守っている。

患者さんすべてが、笑いを必要としているとは思っていない。コミュニケーションをとりたいと思っているとは限らない。でも一緒にいても安心と思ってもらえることで、コミュニケーションの第一歩は始まる。

笑いならなんでもいいわけではない。「痛みを増やす笑いが 있습니다」お笑いブームの芸人さんたちは突っ込みがボケを叩いたり、いじめたりする。心の優しい患者さんは、それを見ただけで胸が痛む。笑えない。病気をネタにしたり、赤の他人をおとしめたりも痛みが増える。夫や妻の悪口は、話している本人の人間性を疑わせ、聞き手の気分が悪くなる。個人攻撃も、自虐ネタもだめである。もちろん患者さんや病気のことをネタにしてはいけない。

笑い療法士とは、「患者さんを尊敬し、患者さんの心に寄り添って、笑いを感染させる人々」のことなのである。患者さんが笑い療法士にもなれる。それが生きがいにもなる。笑い療法士が国家資格に認定され、日本中で100人に1人が笑い療法士になると、日本の国も明るくなることだろう。



高柳先生（左）と筆者（右）

私のキャッチフレーズ

- ・大笑いで痛みが取れる
 - ・幸せホルモンであるエンドルフィンやセロトニンが出る
 - ・NK（ナチュラルキラー）細胞活性が高まり、免疫力も上がる
 - ・薬だと思って笑ってください
 - ・笑いは「体の健康」によく、ユーモアは「心の健康」に必要
 - ・おはようからおやすみまで、笑顔が一番
 - ・金持ちよりも 心持ち
- 《空財布 「笑い」を入れて持ち歩く》

◎癒しの環境研究会会員（笑い療法士2級）
(<http://www.jshe.gr.jp/>)

◎日本笑い学会会員 東北支部岩手県幹事
(<http://www.age.ne.jp/x/warai/>)
(<http://blog.goo.ne.jp/waraimiti/>)

◎ラフターヨガのリーダー
(盛岡・岩手クラブ代表)
(<http://laughteryoga.jp/>)

— 大学報原稿募集 —

岩手医科大学報は、教職員皆様のコミュニケーションの場として発行を重ねていますが、さらなる教職員同士の“活発な意見交換の場”として原稿を募集しています。

岩手医科大学に対する意見や提言、日々の業務で感じること、随想、作品（写真、俳句、絵画など）、サークル紹介、学報への感想など、様々な内容をお寄せください。（原稿字数 500字～1,000字程度）

また、特集してほしいテーマや、各コーナー（「表彰の榮譽」「トピックス」「教職員レター」など）への掲載依頼などもお待ちしております。事務局までご連絡ください。

連絡先 大学報事務局（企画部企画課）
内線7023 kikaku@j.iwate-med.ac.jp

一発逆転ライブショー

薬学部分子細胞薬理学講座 助教 斉藤 麻希

ばんえい競馬をご存知だろうか。マンガ「北斗の拳」に出てきてもおかしくないような巨大馬「轡馬（ばんば）」が、数百kg（最大では1t）の鉄櫓を曳き、その力とスピードを競い合う雄壮な競技である。農耕馬の力比べ競技「草ばんば」に端を発しており、北海道の馬事文化を伝えるものとして北海道遺産に選定されている。

ばんえい競馬の見どころの一つは、コースに設けられた2つの障害（坂）である。大抵の馬は坂の前で立ち止まる。レースの最中に馬が止まる、というだけでも相当ユニークだが、これは駆け引きである。騎手が馬の体力配分を計算しているのだ。その馬の短所長所を知り尽くしていればこそ出来ることである。馬も騎手に絶大な信頼を寄せる。文字通り人馬一体となり、砂塵を巻き上げながら坂を上る様は、時代劇の合戦シーンも顔負けの迫力である。

快調に2つの坂を越



え先頭を走っていた馬が、体力が尽きたか、ゴール目でピタリと止まることもある。逆に、出だしもたつき先頭から大きく引き離された馬が、坂を下りきった途端に驚異の追い上げをみせ、奇跡の大逆転劇の主人公となることもある。これがもう一つの見どころであり、ばんえい競馬のキャッチコピー「馬の一発逆転ライブショー」の意味するところである。

もちろん、最初から最後まで軽快に走破する馬もいれば、その逆もいる。必ずしも毎回逆転劇をみられる訳ではない。それでも私は、最後まで諦めずに走りさえすれば、どの馬にも勝つ可能性が最後まで残されているこのレースを観るのが好きである。どんなにスタートで出遅れようと、一発逆転の可能性を信じ必死に櫓を曳く轡馬達は、私に多くのことを教えてくれているように思う。



写真左端が筆者

競技サポート

理学療法士（花巻温泉病院） 外川 諒

私は現在、本学花巻温泉病院のリハビリテーション業務に携わりながら、プライベートでは母校の高校野球部のコーチ兼コンディショニングトレーナーを務めている。病院では患者様の基本的動作能力の回復や日常生活への復帰の為に、母校では選手の競技復帰や競技力向上の為に日々奮闘している。

自分は高校時代に怪我で大好きな野球が出来ずに苦しんだ時期があった。その時に一緒に怪我を乗り越えてくれたのが理学療法士の先輩だった。その頃から将来は自分も怪我をして苦しんでいる選手を助きたい。諦めない事の大切さを教えたいと思うようになった。実際に高校野球の練習はとて厳しく休みも少ない。その為、選手の怪我は絶えない。自分の役割は怪我をした選手の競技復帰をサポートすること。そして、それよりも大事なこ

とは怪我をしない身体作りをすることにあると感じている。厳しい練習を乗り越えた選手が成長し、怪我をせず大会に臨み、精一杯のプレーをする姿を見ることに喜びを感じている。そして、勝負事は最後に勝つから面白い。最終目標はやはり甲子園。自分も高校時代叶わなかった夢を後輩に託し、今はそのサポートを出来ることにやりがいを感じている。

現在、高校野球のサポートと並行して2016年に開催される岩手国体をサポートする為の研修会に参加している。知識や技術の足りていない自分には学ばなくてはならないことがたくさんあり、選手たちから教わることも数多くある。

厳しい世界ではあるが、スポーツには選手一人ひとりを主人公にした筋書きのない熱いドラマがある。主役である選手を影で支えられる名脇役になることを目標に、これからも夢に向かって突き進みたい。



高校球児の聖地 甲子園球場

学位授与

●医学研究科（博士）

授与番号	氏 名	博 士 論 文 名	授与年月日
甲第1465号	多 田 広 志	骨肉腫細胞株におけるヒストン脱アセチル化阻害剤と微小管阻害薬の殺細胞相乗効果に関する分子機構	平成21年 6 月 3 日
甲第1466号	山 手 清 令	鶏胚における脳アセチルコリンエステラーゼのグルコシルコイドによる影響	〃
甲第1467号	上 原 さつき	巨核球胞体突起形成時における Rho/Rac 系の関与に関する研究	〃
甲第1468号	馬 場 誠 朗	Assessment of gastric motor function by cine magnetic resonance imaging Cine-MRI による胃運動機能の評価	〃
甲第1469号	野 田 宏 伸	シスプラチン抵抗性胃癌細胞集団の単離とその性質の検討	〃
甲第1470号	大 澤 泰 介	腎癌におけるビタミン D 活性化関連遺伝子 CYP27A1・CYP27B1・CYP24 の発現と活性型ビタミン D 添加による発現の変化	〃
甲第1471号	畑 山 伸 弥	腺管分離法を用いた卵巣癌の分子病理学的解析	〃
甲第1472号	小 西 康 弘	腺管分離法を用いた multiploid 大腸癌の分子病理学的解析	〃
甲第1473号	石 北 直 之	サリドマイド投与自閉症モデルラットにおける、脳下垂体後葉の細胞内カルシウム変動	〃
乙第709号	瀬 尾 崇	腎細胞癌における hypoxia-inducible protein2 の発現とその臨床的意義	〃
乙第710号	渡 辺 雄 輝	11C-N-メチルスピペロン PET による肝硬変患者の脳内ドーパミン受容体結合能の変化に関する研究	〃

すこやか スポーツ歯学講座

No. 9

歯科麻酔学講座

教授 城 茂治



顔と口腔のペインクリニック

●歯科のペインクリニックで扱う疾患

私たち歯科麻酔科の外来には顔や口腔の痛みや違和感、麻痺などを訴えて患者さんが紹介されて来ます。中でも顔や口腔の痛みは患者さんにとっては耐え難い大きな問題となります。これまで痛みで来院された患者さんは、はっきりとした歯科疾患が原因であった方を除き、大きく三叉神経痛、舌咽神経痛、帯状疱疹後神経痛、複合性局所疼痛症候群（CRPS）に分けられます。三叉神経痛は、それほど多い病気ではありませんが、歯科領域の痛みでは強烈で患者さんを苦しめます。今回は、この三叉神経痛を取り上げてみたいと思います。

●三叉神経痛とは

三叉神経痛は図のように三本の神経の支配領域に沿った痛みを訴えます。表に示すような特長的な痛みを訴えるため比較的容易に診断されますが、中には歯の痛みとして訴え、歯の治療を受けても治らないために当科を紹介されてくる患者さんも少なくありません。三叉神経痛の原因は三叉神経の根元が血管で圧迫され

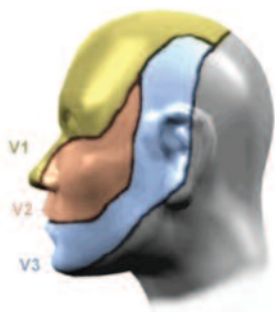


図 三叉神経の顔面感覚分布

ているためといわれており、放射線科による画像診断、テグレトールの有効性で最終的に診断されます。

表 三叉神経痛の特徴

①	三叉神経支配領域に沿った片側性の痛みである
②	発作性の痛みを繰り返す
③	痛みは電撃様である（「針で刺されるような、焼きつくような、電気の走るような」で表現される
④	痛みが歯磨き、会話、食事、洗顔などで誘発される
⑤	間欠期には痛みや他の症状はない
⑥	50歳以上の女性に多い
⑦	テグレトールがよく効く

●三叉神経痛の治療法

三叉神経の治療には、①薬物療法（テグレトールなど）、②外科的療法（神経ブロック、脳外科での血管減圧術）、③ガンマナイフ治療などがあります。通常、まず薬物療法で経過を観察しますが、痛みのコントロールが困難となった場合は、神経ブロックや脳外科での手術を勧めます。神経ブロックはアンギオ室にてX線透視下で行ない、最近では高周波熱凝固法が利用できるようになって短時間での確なブロックが可能となりました。今後、ますます複雑化する顎・口腔の痛みに対して総合的なアプローチは不可欠で、医歯薬の連携による対応が必要と考えております。

●編集後記

今回は歯科医療関係の記事が巻頭言、特集を飾っています。諸般の事情により歯科医療、医育は厳しい現況にありますが、岩手医科大学の校訓であります「誠の医師、歯科医師、医療従事者の育成」が切々と伝わってくる記事であり、医育伝統校の面目躍如といったところがあります。また、投稿していただいた「笑いの療法士2級」も現代に忘れかけた何かを想起してくれる記事でありました。話題の多い学報をお届けできたと思います。今後も多くの御寄稿をいただけることをお願いいたします。（編集委員 山崎 健）

岩手医科大学報 第399号

発行年月日 平成21年8月11日

編集 岩手医科大学報編集委員会

事務局 企画部 企画課

盛岡市内丸19-1

TEL 019-651-5111（内線7022）

FAX 019-624-1231

E-mail:kikaku@j.iwate-med.ac.jp

印刷 河北印刷(株) 盛岡市本町通2-8-7

TEL 019-623-4256

E-mail:office@kahoku-ipm.jp